

中央区

平成 31 年 (2019 年) 3 月

まちづくり会議通信

第 22 号

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。北海道胆振東部地震の影響により、発行が遅れましたことお詫びいたします。

第 1 回まちづくり会議(地域からの情報提供・交通安全講話)

平成 30 年 6 月 4 日 (月)、平成 30 年度第 1 回目のまちづくり会議総会が開催され、約 90 名が参加しました。

第 1 回目のまちづくり会議では地域からの情報提供として、東地区連合町内会で総務部長を務められている山本恒夫さんに、東地区の「千歳鶴 日本酒講座ときき酒会」を紹介していただきました。また、札幌市市民文化局より「交通安全講話」として自転車の交通事故防止について講話がありました。そのほか、総務企画課より今年度の防災に関する取組についての説明と地域振興課より市電 BOOK プロジェクトの説明がありました。

「千歳鶴 日本酒講座ときき酒会」(東地区から)

地区にある歴史ある企業について、もっと住民のみなさんに知ってほしい。そんな思いからスタートした「千歳鶴 日本酒講座ときき酒会」。町内会と地域企業(日本清酒株式会社)が連携して取り組まれています。

この会ではまず、参加者全員で千歳鶴の工場見学をし、お酒を造る過程や設備について学びます。その後、会場を東地区会館に移し日本酒講座ときき酒会が開かれます。会場には日本清酒株式会社から提供をいただいた日本酒について、担当者の方から日本酒の説明を受けながら、飲み比べを行うようです。

山本さんからは「東地区はマンションやアパートに住む人が多く、交流機会が少ない中でこの会は貴重な場となっている。イベントとして定着するよう今後も努力したい。」とお話がありました。



交通安全講話「自転車の交通事故防止」(市民文化局から)

平成 30 年 4 月に中央区内で発生した自転車ひき逃げ事故を受けて、市民文化局より自転車の交通事故防止に関する札幌市の取り組みについて説明がありました。川上交通安全担当課長からは「事故防止に特効薬はなく、地道な活動が必要。悲しい事故が無くなるよう地域・行政が協力していく必要がある。」と講話を締めくくりました。



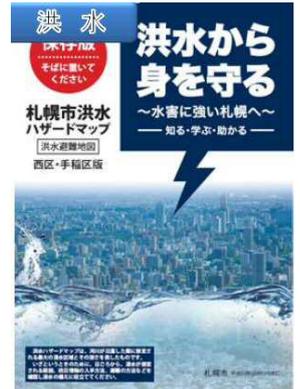
第2回まちづくり会議(洪水ハザードマップの改訂及び活用について)

平成 31 年 3 月 4 日(月)、平成 30 年度第 2 回目のまちづくり会議総会が開催され、約 90 名が参加しました。第 2 回まちづくり会議総会では総務企画課、地域振興課がそれぞれ「地域防災の取組」、「市電を活かしたまちづくり」について、今年度の取組報告と次年度の活動について、説明がありました。そのほか、危機管理対策室から平成 31 年 1 月に改訂となった洪水ハザードマップについての説明がありました。

洪水ハザードマップの改訂及び活用について(危機管理対策室から)

洪水ハザードマップの改訂及び活用について、危機管理対策室の松坂課長より説明がありました。新しくなったハザードマップを実際に用いて、浸水想定の変更のほか、避難情報の種類や出し方についての説明がありました。

松坂課長から「今後、全戸配布を予定している。ご家族、また地域で自分の居住地の浸水想定を改めて確認していただきたい。また、地域等でご要望があれば出前講座を実施しておりますのでご連絡ください。」と参加者に呼びかけていました。



地域防災の取り組みについて(中央区市民部総務企画課から)

中央区防災訓練をはじめとする、地域防災の取組について、総務企画課から報告がありました。

1 中央区防災訓練

平成 30 年 8 月 31 日円山小学校で行われた「中央区防災訓練」には地域住民 192 名、参加関係機関・団体 13 団体が参加しました。グラウンドでは風水害を想定した「水防工法訓練(土のう作成)」・「倒壊家屋救助訓練」・「応急救護訓練」などが行われました。また、体育館では「避難所運営ゲーム」・「段ボールベッド組立訓練」を行いました。たくさんの方のご参加ありがとうございました。



来年度の防災訓練は 10 区持ち回りで実施している「札幌市総合防災訓練」の当番区となっています。平成 31 年 9 月 6 日(金)には「豊平川緑地(1 条大橋)」において、地震や洪水害を想定した救助訓練を行い、さらに 9 月 14 日(土)には新しくなった中央体育館である「北ガスアリーナ札幌 46」で避難所運営に関する訓練を実施することとなりました。また、「地下歩行空間(チ・カ・ホ)」において、地震に関するパネル展を実施する予定となっております。訓練参加などについてご協力をお願いします。



2 避難所運営体制づくり取組支援事業(避難所運営検討会)

中央区内にある基幹避難所(小中学校・体育館)ごとに避難所運営マニュアルを作成するこの事業も今年度で 5 年目を迎えました。今年度は山鼻小学校・盤溪小学校・山鼻中学校・向陵中学校・中央中学校・伏見中学校で避難所運営検討会を実施し、マニュアルが完成しました。

来年度は中央小学校・二条小学校・柏中学校・北ガスアリーナ札幌 46 において、検討会を実施します。



3 地区防災計画

危機管理対策室が主催する地区防災計画事業について、昨年度、モデル地区として実施した西創成地区に引き続き、今年度から盤溪地区が取組を開始しました。各地区ともワークショップや避難所見学などを実施し、活発な意見が交わされました。

西創成地区については「西創成地区防災計画」の改訂が行われ、盤溪地区については次年度「盤溪地区防災計画」が完成する予定となっております。



☆～次年度も地域防災の取組につきまして、ご理解・ご協力をお願いいたします～☆

市電を活かしたまちづくりについて(中央区地域振興課から)

中央区まちづくり会議における意見をきっかけとして立ち上げたプロジェクトが制作に取り組んできたガイドブック「市電 BOOK」の発行など、中央区における市電を活かしたまちづくりの取組結果について、地域振興課から報告がありました。

I 市電 BOOK2018(第 2 号)の発行



平成 29 年 6 月に発行した第 1 号に引き続き、平成 30 年 6 月に発行した第 2 号も大変好評をいただき、計 10,000 部(初刷 7,000 部、増刷 3,000 部)が発行されました。

第 2 号では、“観光客や沿線以外の市民にも市電やその沿線の魅力を知ってもらおう”というプロジェクトの目標達成に向けて、区内のホテルやゲストハウスを配布場所に加えた他、路面電車開業 100 周年関係のイベントや市電フェスティバルの会場でも配布し、幅広い対象に市電沿線の魅力を PR しています。



II 路面電車開業 100 周年記念との連携



平成 30 年 8 月 12 日に路面電車開業 100 周年を迎えたことから、上記市電 BOOK2018 の発行と合わせて写真投稿企画を開催し、現在の街の景色や沿線のお勧めスポット、様々な広告がラッピングされた市電、過去の沿線地域の様子など、19 名から計 90 作品の応募をいただきました。応募作品は、市電 BOOK を拡大したパネル等と一緒に、市電フェスティバル会場や中央区役所ロビー等において展示し、多くの方にご観覧いただいております。

III 貸切電車イベントの開催



毎年、貸切電車を会場に様々なテーマで実施しており、平成 30 年度は①小学生を対象とした「夏休み自由研究教室」、②子育て世代を対象とした「子育てサロン」、③観光客等も対象に加えた「ミュンヘン・クリスマス市コラボ電車」、④市電に乗りながら市電や沿線地域をテーマとした俳句を詠む「俳句電車」を開催しました。いずれのイベントも定員を超える応募があり、参加者からも大変好評をいただきました。平成 31 年度も、中央区の市電や沿線地域を知っていただく良い機会となるようなイベントを継続してまいります。



<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南 3 条西 11 丁目中央区役所 TEL 011-205-3205 FAX 011-261-2991